< 第 6 会場 > 1 号館 3 階: 131 8 月 3 日(火)午前 9 時 00 分~11 時 35 分 連名の と 印は講演者, 印は論文発表賞の審査の対象者です表題に下線付きの論文は,部門誌大会特集号に向けて引き続き査読中の論文です論文番号の I 印は論文 です

B01 電力ケーブル劣化・診断(1)

<第6会場> 1号館 3階:131 8月3日(火)午後1時30分~4時35分

水トリー内の連結チャンネルの課電電圧に対するダイナミズム

連名の と 印は講演者, 印は論文発表賞の審査の対象者です 表題に下線付きの論文は,部門誌大会特集号に向けて引き続き査読中の論文です 論文番号の I 印は論文 です

B02 電力ケーブル劣化・診断(2)

(座長) 田中 秀郎(古河電気工業) 296 低周波電圧を用いた CV ケーブル劣化診断法の検討 297 活線劣化診断と迷走電流の周波数成分について CV ケーブルの絶縁体劣化に関する一考察(その1) 66kV 実線路撤去ケーブルの長時間高周波加速劣化特性 二種類のパワーディバイダの利用による電力ケーブルの特性測定における反射の影響の除去 300 稲田英教・犬塚博・松本隆宇(静岡大学) テープ巻き絶縁形接続部の寿命評価(1) DSC による絶縁テープの酸化劣化評価 301 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・田中敦・松井俊哉・中山雅彦(東京電力) 302 テープ巻き絶縁形接続部の寿命評価(2) OITによるテープ巻き接続部の寿命評価 303 CV ケーブルプレハブ接続箱の劣化特性(その4) ···························· 中川信一(関西電力) 304 66kV 経年 0F ケーブルの特性調査結果(その1)・・・・・・・・・・・ 倉持太郎(東京電力)・小田島真也(日立電線) 305 66kV 経年 0F ケーブルの特性調査結果(その2)・・・・・・・・・・ 倉持太郎(東京電力)・小田島真也(日立電線) 306 経年鉛被 OF ケーブルの鉛被特性評価・・・・・・ 倉持太郎・相原靖彦 (東京電力)・ 木村人司・松本鉄男 (古河電気工業) < 第6会場> 1号館 3階:131 8月4日(水)午前9時00分~11時50分 連名の と 印は講演者, 印は論文発表賞の審査の対象者です 表題に下線付きの論文は,部門誌大会特集号に向けて引き続き査読中の論文です 論文番号の 🗌 印は論文 です

B03 送電線

(座長) 佐藤 恵二(日立電線) 鉄塔基礎不同変位感知装置の開発 ·················· 菅原直樹·大浦久到(北海道電力)·醍醐幸男(那須電機鉄工)·若林安弘(那須設計) 309 捻回楕円電線の実規模フィールド試験観測結果・・・・ 齊藤知孝・長谷祐児(中部電力)・岩間成美・窪川弘(日立電線) 310 相間スペーサつき送電線のサブスパン振動解析 311 CAFSS による低風圧電線の風応答評価(その2) 312 ジャンパケーブルによる鉄塔仮工事工法の開発 313 4導体送電線のギャロッピング時発現振動モードについて ・・・・・・・・・・ 雪野昭寛(関西電力)・山口宏樹(埼玉大学)・謝旭(開発コンサルタント)・佐藤嘉英(日本橋梁) 314 宮古島試験線における低風圧電線(TACSR410 mm²相当)観測結果 316 高画素デジタルカメラによる架空送電線と樹木の離隔計測のための基礎研究・・・前田義久・ 坊野堅史(日本カタン)・ 藤原直史(金沢大学)

< 第 6 会場 > 1 号館 3 階:131

317 講演取消

連名の と 印は講演者, 印は論文発表賞の審査の対象者です表題に下線付きの論文は,部門誌大会特集号に向けて引き続き査読中の論文です論文番号の 口 印は論文 です

8月5日(木)午後1時30分~4時35分

B04 配電システム用機器

(座長) 吉浦 敏昭(九州電力) 318 携帯型系統監視装置の開発・・・・・・・・・・・・・・・・・ 山本秀幸・斎藤彰(東京電力)・中村郁夫(三英社製作所) 319 汎用 LAN を用いた 154kV , 77kV 配電変電所用低コスト監視制御システムの開発 野口昭弘 (戸上電機)・太田政弘 (安川電機)・神田洋典 (九州電機製造)・田中浩 (ニシム電子工業) 323 高圧配電線遠隔検相器の開発・・・・・・・・ 白岩策美(九州電力)・近藤聡・田中克弥・竹内陽一郎(ニシム電子工業) 325 配電工事用静止型発電機車の開発・・・・・・若泉典良・玉屋宏展(北陸電力)・松川満・ 榮紀雄・長谷部孝弥(日新電機) 326 通信線伝送障害点探査装置の開発・・・・・・飯田洋・ 渡邊裕二・大熊晴樹・大村裕司(九州電力)・石原智海(九州電機製造) 配電用変電所設計業務における支援システムの開発 328 ホール素子による絶縁電線非破壊検査法の開発・・・・・・・・・・・・出口喜英・長屋重夫(中部電力)・武石雅之・ 由井正弘・森下慶一・竹田英哲(三菱重工業) <第7会場> 1号館 3階:132 8月3日(火)午前9時00分~11時05分 連名の と 印は講演者, 印は論文発表賞の審査の対象者です 表題に下線付きの論文は、部門誌大会特集号に向けて引き続き査読中の論文です 論文番号の □ 印は論文 です

B05 電力ケーブル布設工法

(座長) 宮崎 明延(中部電力)

329 紀伊水道海底ケーブルの布設・・・・・・・・・・・中西豊 (関西電力)・藤井宏一郎 (電源開発)・中山快志 (住友電気工業)・ 五嶋泰洋(古河電気工業)・坂口国夫(フジクラ)・ 宮崎拓哉(日立電線) 330 橘湾内岩盤部海底ケーブル埋設工法の開発(紀伊水道直流海底ケーブル布設工事) 牧洋一(日立電線)・ 池田秀樹(フジクラ)・成瀬俊久(コマツ) 331 海底ケーブル用布設同時埋設機の実用化(紀伊水道直流海底ケーブル布設工事用) 梅崎幹夫(日立電線)・ 木村浩之(住友電気工業) 平田幸一(住友電気工業)・岩田保(フジクラ)・宮崎拓哉(日立電線)・ 高松研(古河電気工業) モーターローラー工法の高速化,最適配置間隔の検討

<第7会場> 1号館 3階:132 8月3日(火)午後1時30分~5時05分 連名の と 印は講演者, 印は論文発表賞の審査の対象者です 表題に下線付きの論文は,部門誌大会特集号に向けて引き続き査読中の論文です 論文番号の □ 印は論文 です

B06 電力ケーブル接続部

(座長) 中出 雅彦(東京電力) 336 500kVCV ケーブル用乾式 EBG の現地施工法検討 337 154kV コンパクトゴム絶縁型接続部の開発・・・・ 田中悟・栗原弘明 (古河電気工業)・松井俊哉・中出雅彦 (東京電力) 338 154kVCV ケーブル用差込式ガス中終端接続箱(EB-GS)の開発(その2) ・・・・・・・ 芳本充陽・上田良弘・山本敏嗣 (関西電力)・ 札本広治・坂口恭生 (住友電気工業)・貞國仁志 (三菱電機) 339 154k/ 塔上分岐用終端接続部の開発・・・・・・・・後藤毅志・堀芳勝 (東京電力)・ 米村徳偉・末次將寛 (古河電気工業) 341 複合絶縁体界面における空間電荷を考慮した電界強度分布特性 342 固体絶縁界面の電気特性 プレハブ形接続箱模擬界面における電界方向の影響 22kVCV ケーブル用新型直線接続部の開発 345 CV ケーブル用プレハブ型気中終端箱の電位分布測定 346 高分子製耐塩用屋外終端接続部の開発

348 高圧 CV ケーブル用工場拡径・常温収縮型中間接続部の開発

347 高圧 CV ケーブル用新型差込式終端接続部の開発・・・・・・・・ 鶴山正徳・立川紀温・松村徹・松生徹治(住友電気工業) < 第7会場 > 1号館 3階:132 8月4日(水)午前9時00分~11時05分 連名の と 印は講演者, 印は論文発表賞の審査の対象者です 表題に下線付きの論文は,部門誌大会特集号に向けて引き続き査読中の論文です 論文番号の 🗍 印は論文 です

B07 大容量送電

(座長) 吉川 信明(関西電力)

355 耐熱 CV ケーブル並びに接続部の開発・・・仲川隆・中川信一(関西電力)・ 村田義直・片貝昭史・山崎孝則(日立電線)

< 第7会場 > 1号館 3階:132 8月5日(木)午前9時00分~11時20分

363 講演取消

連名の と 印は講演者, 印は論文発表賞の審査の対象者です表題に下線付きの論文は,部門誌大会特集号に向けて引き続き査読中の論文です論文番号の 🔲 印は論文 です

B08 電力ケーブル試験・監視